

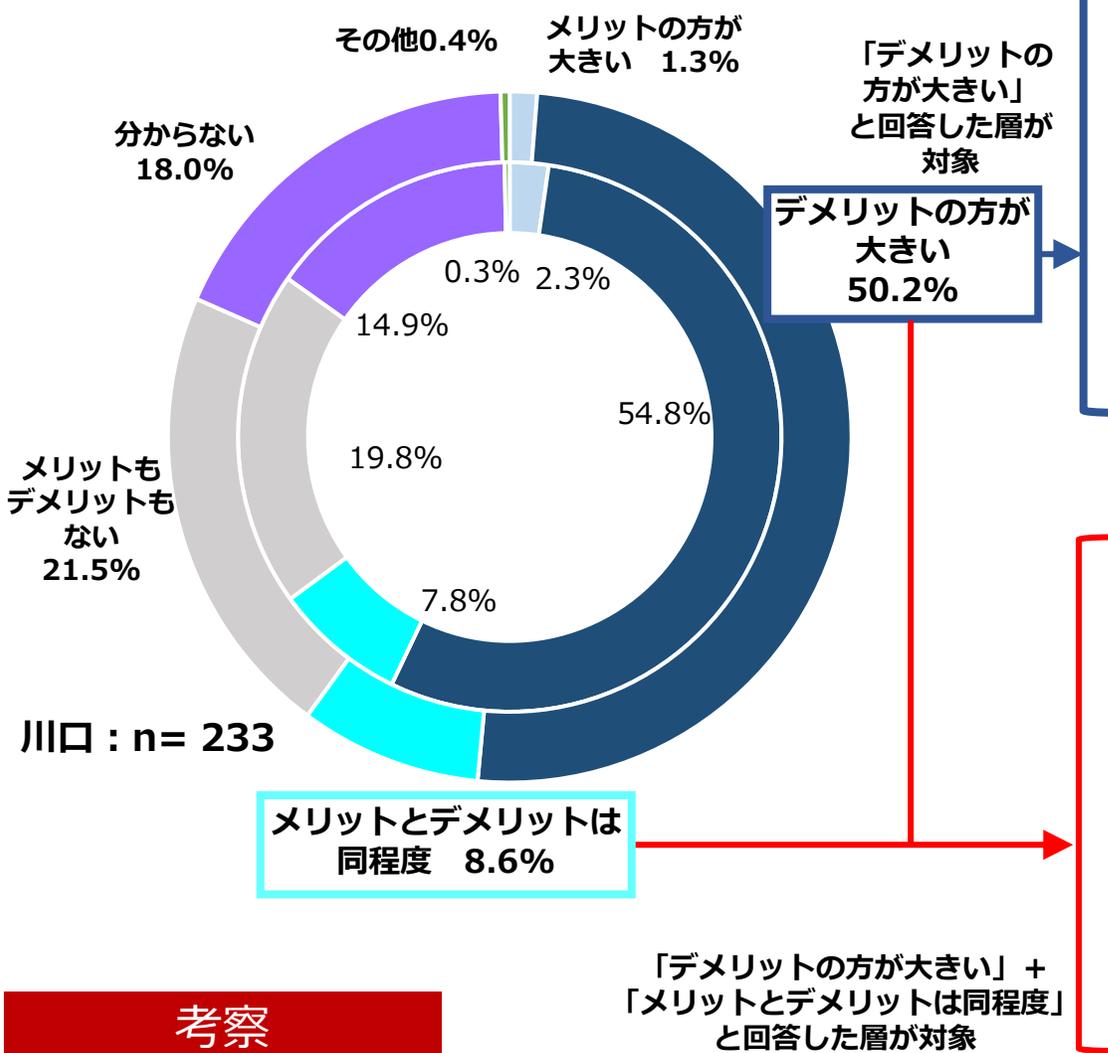
## 第2回（4-6月期）

# 川口商工会議所クローズアップ 市内景況調査

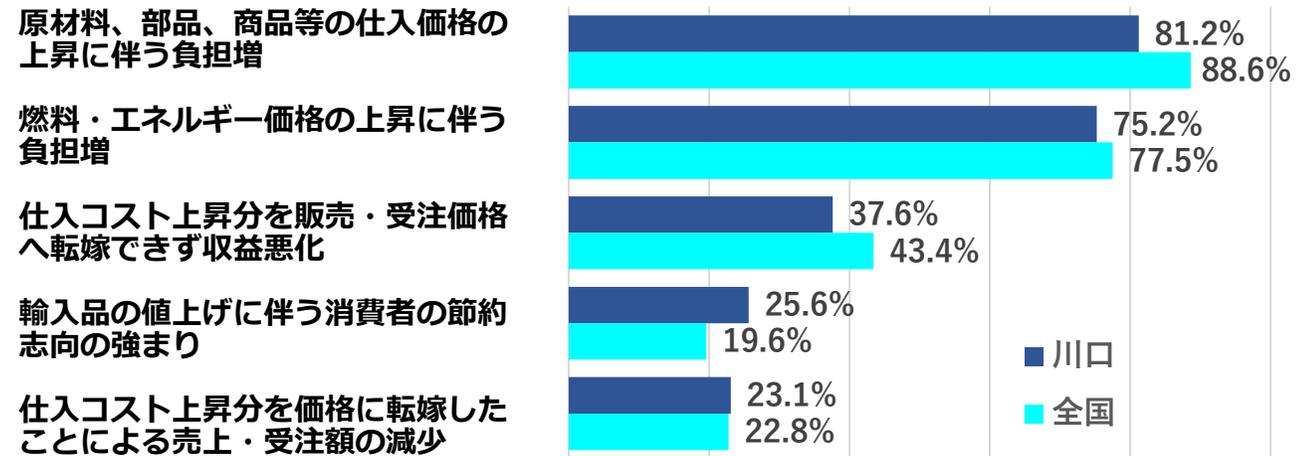
2024年8月 川口商工会議所

# 【トピックス】 円安基調が業績に与える影響

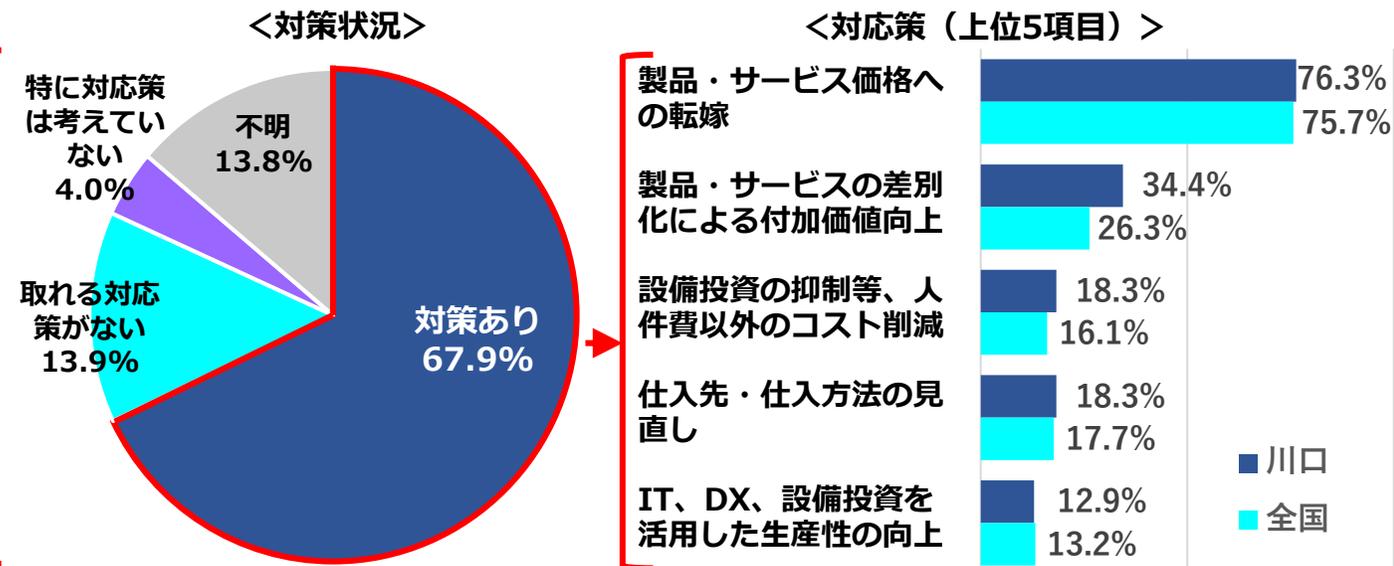
## ①円安基調が業績に与える影響（外円：川口、内円：全国）



## ②デメリットの内容(上位5項目)



## ③円安に伴う対応状況と対応策



### 考察

- ①円安基調が業績に与える影響は、「デメリットの方が大きい」とする企業が50.2%と約半数を占め、「メリットの方が大きい」とする企業の割合を大きく超えている。
- ②デメリットの内容として、「原材料、部品、商品等の仕入価格の上昇に伴う負担増」「燃料・エネルギー価格の上昇に伴う負担増」「仕入コスト上昇分を販売・受注価格へ転嫁できず収益悪化」は、全国より少ない。川口では比較的価格転嫁が進展していることで、円安によるコスト上昇の負担感がやや抑えられている可能性がある。
- ③円安によるデメリットへの対策については、67.9%の企業が「対策あり」と回答しており、それらの企業中76.3%が「製品・サービス価格への転嫁」を挙げている。「製品・サービスの差別化による付加価値向上」を挙げる企業は、全国と比べて多くなっており、自社製品にベクトルを向ける動きもみられる。

# 【景況感】 ◆全業種の業況（前期(1-3月)-今期(4-6月)-先行き(7-9月)）

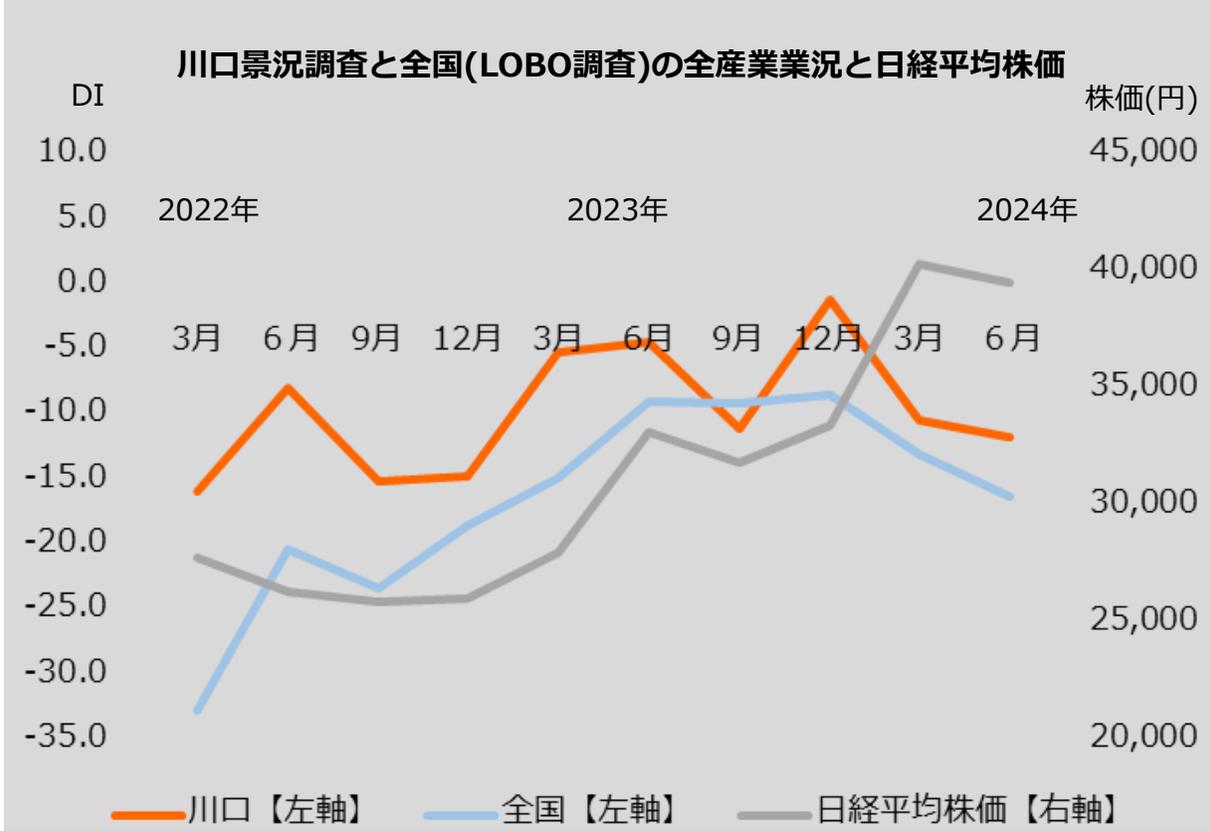
業況DIは、コスト負担増が広範囲に広がり足踏み  
先行きは、この状況に拍車がかかりさらに厳しい見方

## ●全産業合計の業況は▲11.6（前期比▲1.3ポイント）

- 円安の進行などで仕入単価がさらに上昇する中、人材確保に向けた賃上げの実施、輸送費の上昇といった複数の要素が追い打ちをかけている。重いコスト負担が業績の足かせとなり、まさに「外部環境に翻弄されている」状況である。
- 仕入単価上昇のポイントが最も高い建設業と卸売業では、売上高が増加しているにもかかわらず、業況は現状維持または悪化となっている。小売業は物価高騰による買い控えの影響で売上高、採算ともに厳しい。一方でサービス業は、行楽シーズンの買い物需要等を取り込んで売上高、採算ともに増加・好転し、唯一業況が好転した。

## ●先行き見通しは▲13.3（今期比▲1.7ポイント）

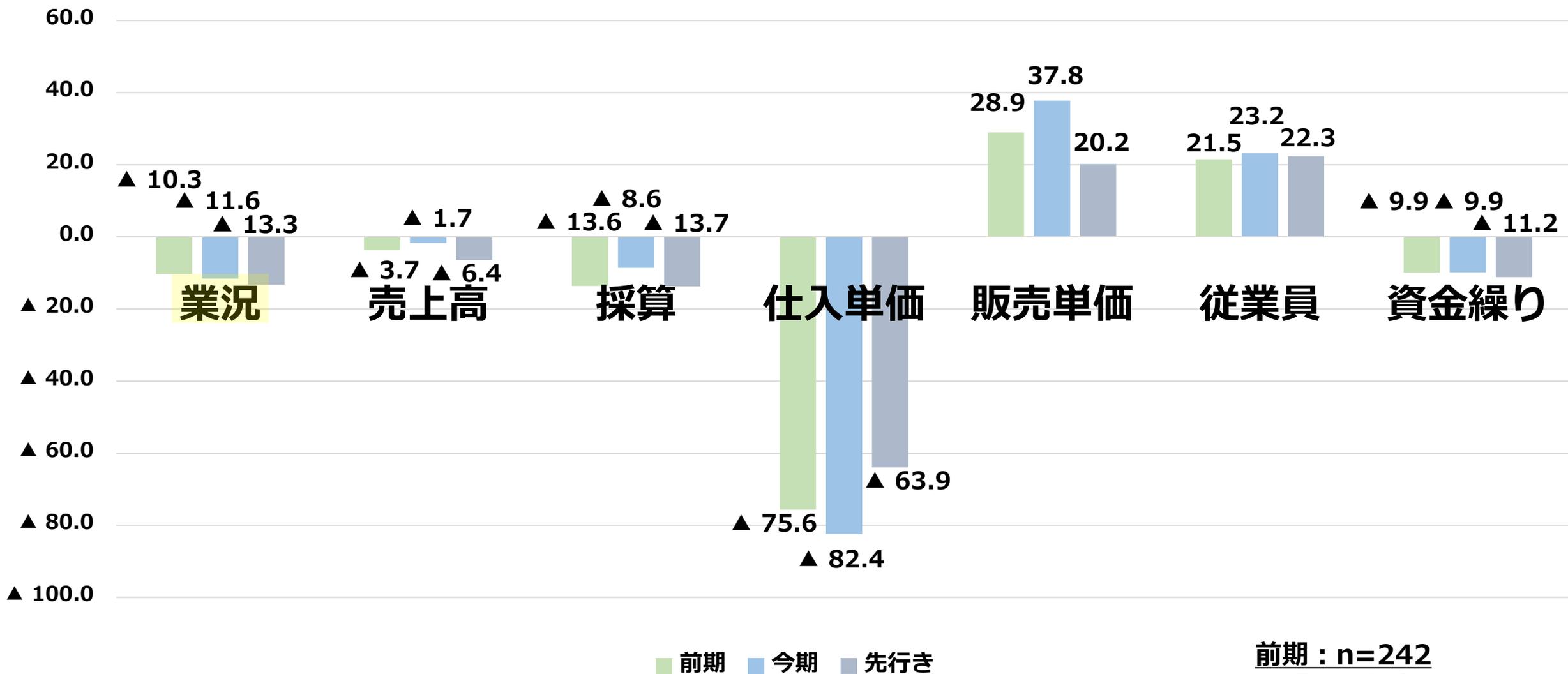
- 歴史的な円安基調や原材料価格高騰といった外部環境に強い影響を受けていることから、先行きが見通せず慎重な見方が強い。業況が好転を見込んでいるのは建設業のみで、他の業種はいずれも悪化の見通しとなっている。
- 円相場はようやく安定に向かいつつあるものの、人手不足による輸送費の上昇、酷暑による電気使用量の増加に加え、10月からの最低賃金は過去最大の引き上げ額となることが決まるなど、企業のコスト負担増はさらに続くことが見込まれる。価格転嫁は進んでいるものの、こうした急速な変化に追いついておらず、先行きは厳しい見方が広がっている。



業況DI（※DI=「好転」の回答割合-「悪化」の回答割合）

	2022年				2023年				2024年		先行き見通し
	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	
全産業	▲ 15.8	▲ 7.9	▲ 15.0	▲ 14.6	▲ 5.1	▲ 4.4	▲ 11.0	▲ 1.1	▲ 10.3	▲ 11.6	▲ 13.3
製造	6.9	0.0	▲ 28.0	▲ 10.0	1.9	▲ 2.9	▲ 4.0	▲ 5.7	▲ 2.5	▲ 14.1	▲ 20.5
建設	9.1	9.1	0.0	▲ 31.6	▲ 11.1	▲ 2.5	▲ 7.3	5.4	▲ 6.5	0.0	5.4
卸売・小売・飲食	▲ 45.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
卸売・小売	—	▲ 35.7	▲ 26.9	▲ 28.0	▲ 19.5	▲ 17.9	▲ 15.2	0.0	—	—	—
卸売	—	—	—	—	—	—	—	—	▲ 20.0	▲ 17.9	▲ 3.6
小売	—	—	—	—	—	—	—	—	▲ 22.7	▲ 26.8	▲ 26.8
飲食	—	▲ 28.1	▲ 30.0	▲ 28.1	▲ 18.2	66.7	▲ 20.0	5.0	—	—	—
サービス	▲ 28.1	▲ 9.5	3.4	4.5	0.0	▲ 2.6	▲ 17.4	▲ 5.0	0.0	2.7	▲ 10.8

## 【景況感】 ◆全産業の動向（前期(1-3月)-今期(4-6月)-先行き(7-9月)）



前期：n=242  
今期・先行き：n=233

### 考察

- ・ 業況は、今期は仕入単価の上昇等の影響で悪化しており、先行きは悪化傾向が強まる見通しである。
- ・ 売上高は、今期は販売単価上昇の影響で減少傾向がやや鈍るが、先行きは減少傾向が強まる見通しである。
- ・ 採算は、今期は販売単価上昇の影響で悪化傾向が弱まるが、先行きは悪化傾向が強まる見通しである。
- ・ 仕入単価は、今期は円安や原材料高騰の影響で上昇しているが、先行きは上昇傾向が落ち着く見通しである。
- ・ 販売単価は、今期は価格転嫁が進むことで上昇し、先行きは上昇傾向が落ち着く見通しである。
- ・ 従業員は、今期は人手不足感がやや進行し、先行きは緩むものの引き続き人手不足感が継続する見通しである。
- ・ 資金繰りは、今期は悪化傾向が継続し、先行きは悪化傾向がやや強まる見通しである。

## 【景況感】 ◆業種別の業況（前期(1-3月)-今期(4-6月)-先行き(7-9月)）



製造業

（今期）業況は悪化している。価格転嫁により販売単価は上昇しているが、売上高は減少に転じ、人材確保に向けた賃上げ、円安や資材高騰による仕入単価の上昇により採算は悪化している。  
（先行き）業況は悪化傾向が強まる見通し。販売単価の上昇傾向に歯止めがかかることや需要減少に伴って売上高の減少傾向が強まり、採算・資金繰りはさらに悪化すると予想される。



建設業

（今期）業況は不変(現状維持)。仕入単価の上昇傾向は続くも、足元の案件増加で売上高が増加し採算が好転した。一方で仕入単価は高止まりしており、人手不足も深刻な状況が続く。  
（先行き）業況は好転の見通し。売上高の増加や販売単価の上昇が落ち着くことで採算は現状維持だが、仕入単価や人手不足の上昇に歯止めがかかりつつあるのは好材料となっている。



卸売業

（今期）業況は悪化している。売上高は価格転嫁による販売単価の上昇もあり増加傾向であるが、物価高で消費全体が落ち込んでいる。円安や輸送費上昇の影響も継続し、採算は悪化。  
（先行き）業況は悪化が続くものの鈍化の見通し。消費の落ち込みにより売上高は慎重な見方が強いものの、本調査期間中に円高が進行したこともあり、採算は好転する見通しである。



小売業

（今期）業況は悪化している。売上高は物価高に伴う消費者の買い控え等の影響で引き続き減少。仕入単価は上昇傾向が続き、賃上げの負担も大きく、採算と資金繰りも悪化している。  
（先行き）業況は悪化が続く。販売単価の下落に伴って需要がいくぶん持ち直し、売上高は回復の兆しが見える。しかし仕入単価が高止まりしているため採算の改善は進まない状況。



サービス業

（今期）業況は好転している。販売単価の上昇や行楽・買い物需要の増加等の影響で売上高の増加傾向が強まった。これに伴い、採算と資金繰りも好転している。  
（先行き）業況は悪化に転じる。販売単価の上昇が落ち着くことや需要減少により売上高の増加は鈍化しており、採算も悪化に転じる見込み。こうしたことが資金繰りの悪化につながっている。

## 【景況感】 ◆ 経営状況に関する具体的な声（主要なものを抜粋）



製造業

- 円高による輸入資材高騰が顕著で価格転嫁が追いつかない
- 輸送コスト上昇のため物流業者を複数社検討している
- 価格転嫁は事前に行えず負担が大きい
- システム維持費が上昇している
- 売上が右肩下がり設備投資ができない
- 人材採用の経験面・条件面のマッチングが難しい
- 人員不足のため受注を控えている
- 原価高に加え最低賃金引上げで先が見えず不安



建設業

- 外部環境の変化（慢性的な人材不足、原価の高騰、インボイス制度の負担、電子帳簿保存法等）に翻弄されている
- 人手不足で危機感を感じている
- 人材を募集しても採用できず困っている
- 自社ブランド製品を開発し、積極的に販売、広報活動に取り組んでいる。川口市産品フェア、他のマルシェ等のイベント等にも月1回程度出店し宣伝、販売を行っている



卸売業

- 円安の影響が大きい
- アルバイトも含めた賃上げを行ったが、好景気の兆しは見えずこれ以上のコスト増は難しい
- 賃上げの波が来ているが、自社の業績は良くなっていない
- 納期の長い商品を輸入しているが、将来の価格変動後の受注量の予測が難しいため、仕入量の決定に苦労している
- 急激な円安を改善してほしい
- 人材採用できず人手不足である



小売業

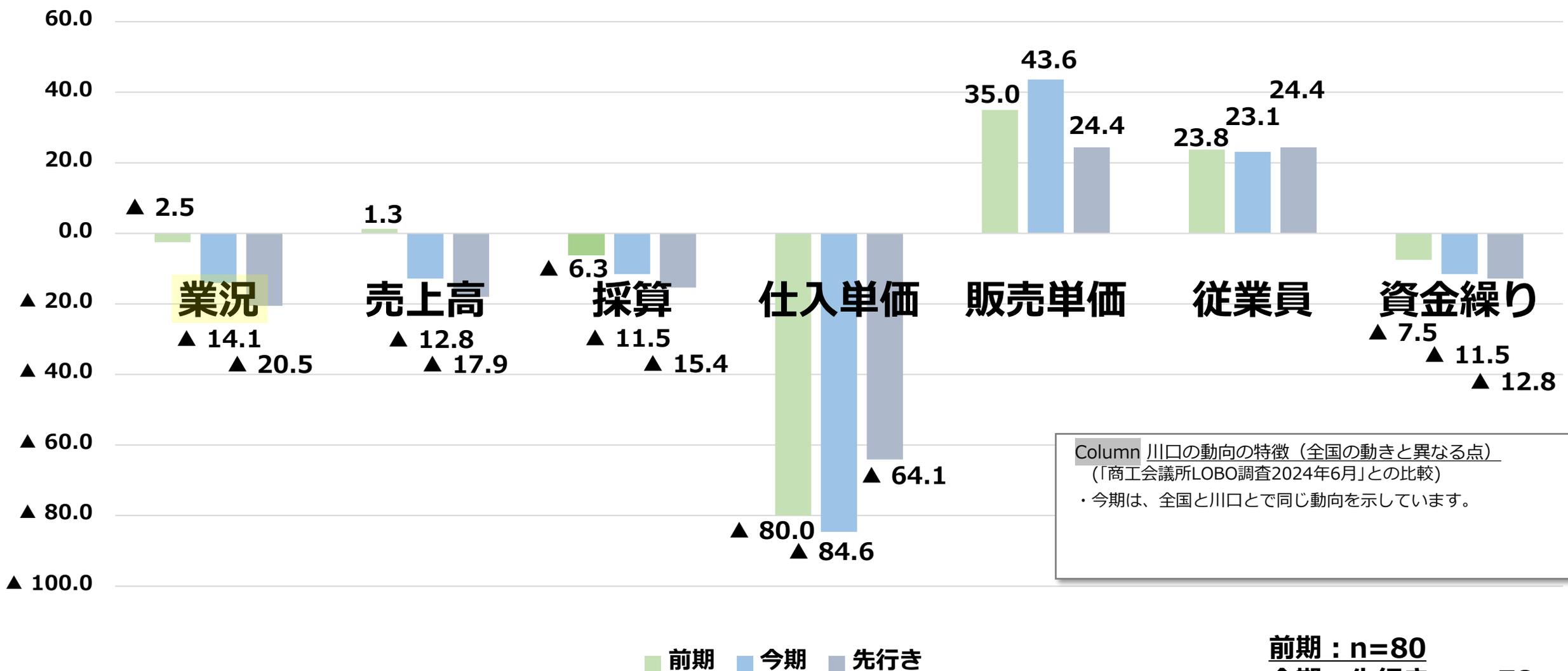
- 人手不足が深刻である
- 販売不振を改善したい
- 原材料、輸送費、金融機関の手数料が上がり危機感を持っている
- 原料高騰の一部しか価格転嫁できず、買い控えも大きい。補助金を受けても税金で徴収されてしまう
- 価格転嫁ができず利益を圧縮している
- 客数が減る一方である
- 来年は賃上げ困難
- 賃上げ税制、インボイス、電子帳簿保存法は大企業向けと感じる



サービス業

- インバウンド関連の受注増はあるが、原材料費とコストの上昇、人手不足により思うように改善していない
- 原料値上げのペースが速く、客足への影響も不安で価格転嫁ができない
- 電子帳簿保存法の負担が大きく、更なる要件緩和を望む
- 価格転嫁が難しく、今後は人材不足も問題になる
- 重要な設備投資を控えがちになっている
- 治安悪化への安全対策コストが増している

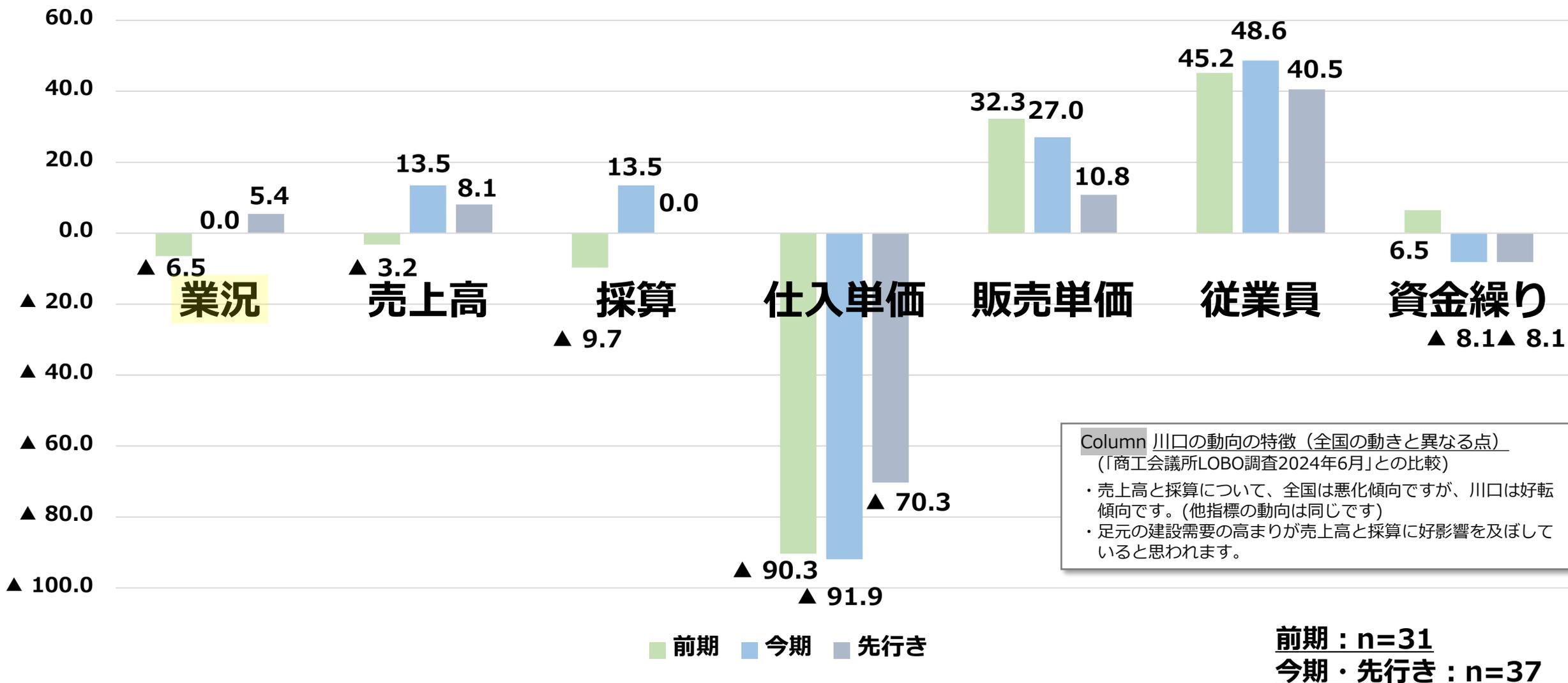
# 【景況感】 ◆ 製造業の動向（前期(1-3月)-今期(4-6月)-先行き(7-9月)）



## 考察

- ・ 業況は、今期は売上高減少と仕入単価上昇の影響で今期・先行きともに悪化傾向が強まる見通しである。
- ・ 売上高は、今期は足元の需要減で今期は減少に転じ、先行きは減少傾向が強まる見通しである。
- ・ 採算は、今期は仕入単価上昇や売上高減少の影響で悪化しており、先行きは悪化傾向が強まる見通しである。
- ・ 仕入単価は、今期は円安や原材料高騰の影響で上昇傾向は続くも、先行きは上昇傾向が落ち着く見通しである。
- ・ 販売単価は、今期は価格転嫁が進み上昇傾向であるが、先行きは上昇傾向が落ち着く見通しである。
- ・ 従業員は、今期・先行きともに人手不足感が続く見通しである。
- ・ 資金繰りは、今期・先行きともに悪化傾向が強まる見通しである。

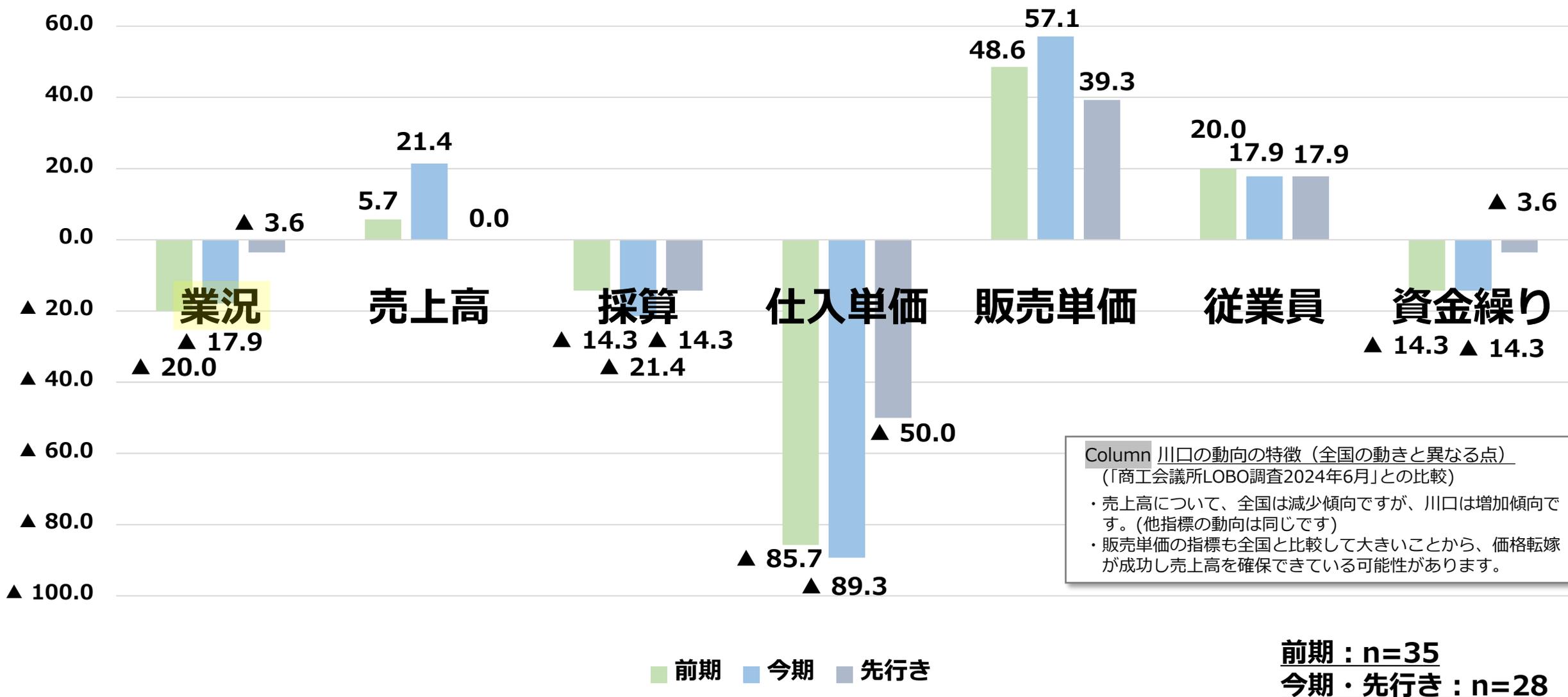
# 【景況感】 ◆建設業の動向（前期(1-3月)-今期(4-6月)-先行き(7-9月)）



## 考察

- ・業況は、今期は売上高が増加も仕入単価の上昇で不変(現状維持)となり、先行きは好転する見通しである。
- ・売上高は、今期は建設需要の高まりで増加傾向に転じており、先行きは増加傾向は落ち着く見通しである。
- ・採算は、今期は売上高の増加で好転しており、先行きは不変(現状維持)となる見込みである。
- ・仕入単価は、今期は円安と資材高騰による上昇傾向が続くも、先行きは上昇傾向は落ち着く見通しである。
- ・販売単価は、今期は資材高騰の影響で上昇傾向が続いており、先行きは上昇傾向は落ち着く見通しである。
- ・従業員は、今期は案件増加の影響で人手不足感が進行し、先行きは人手不足感がやや落ち着く見通しである。
- ・資金繰りは、今期は仕入単価の上昇等で悪化に転じ、先行きは悪化傾向が継続する見通しである。

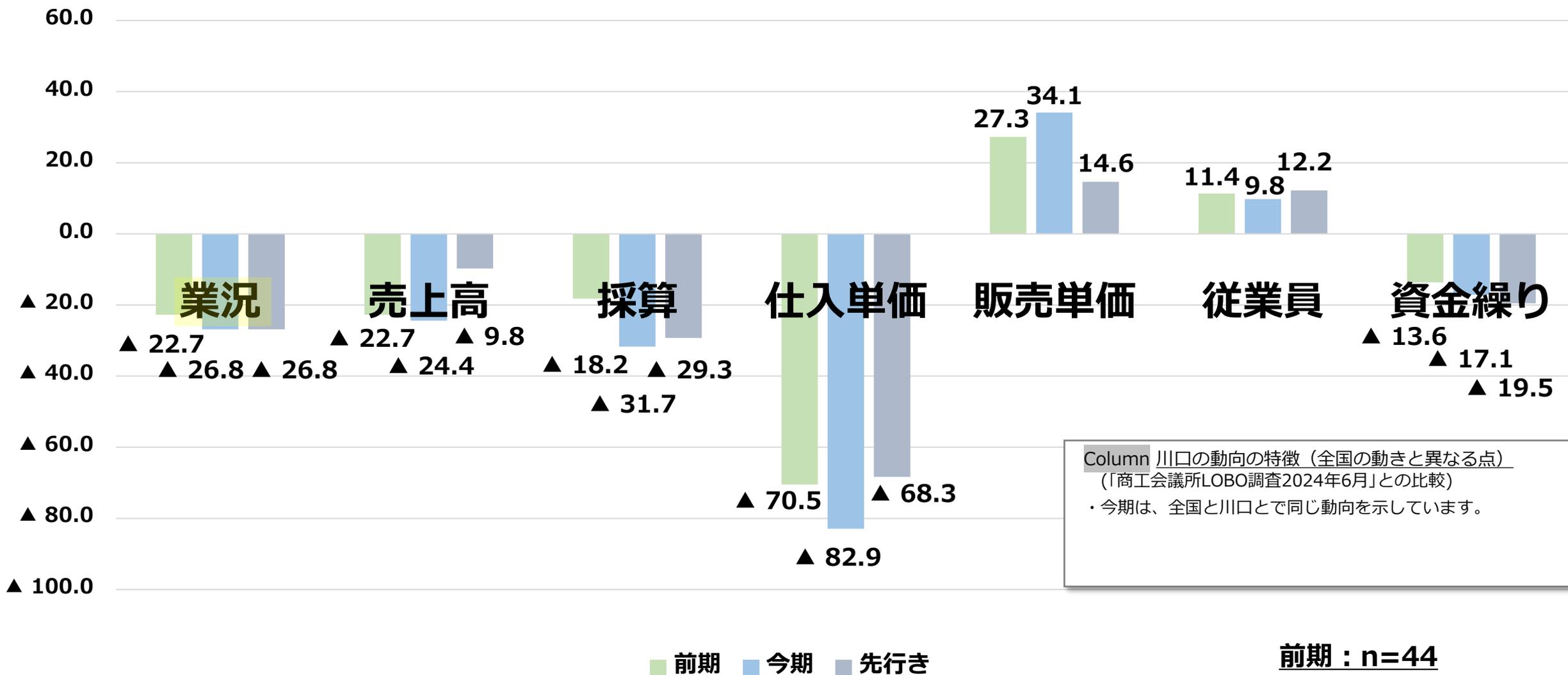
## 【景況感】 ◆卸売業の動向（前期(1-3月)-今期(4-6月)-先行き(7-9月)）



### 考察

- ・業況は、今期は仕入単価上昇に伴い悪化傾向であり、先行きは悪化傾向は鈍化する見通しである。
- ・売上高は、今期は販売単価の上昇に伴い増加傾向であるが、先行きは不変(現状維持)となる見通しである。
- ・採算は、今期は仕入単価や輸送費上昇の影響で悪化傾向が強まるが、先行きは悪化傾向が落ち着く見通しである。
- ・仕入単価は、今期は円安や輸送費上昇の影響で上昇傾向だが、先行きは上昇傾向は落ち着く見通しである。
- ・販売単価は、今期は価格転嫁が進んだことにより上昇しており、先行きは上昇傾向が落ち着く見通しである。
- ・従業員は、今期は人手不足感がやや鈍化し、先行きは人手不足感が継続する見通しである。
- ・資金繰りは、今期は仕入単価の上昇により悪化傾向が継続するが、先行きは悪化傾向は鈍化する見通しである。

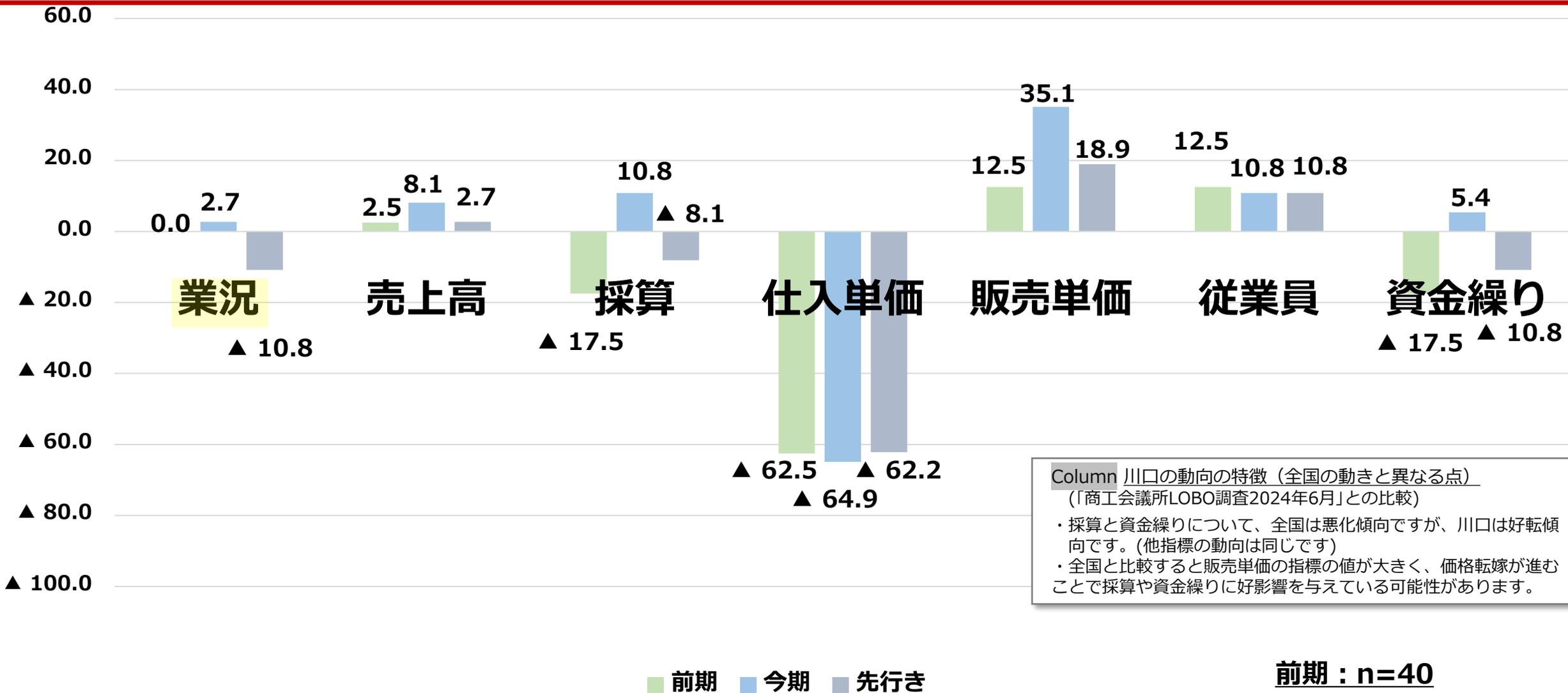
## 【景況感】 ◆小売業の動向（前期(1-3月)-今期(4-6月)-先行き(7-9月)）



### 考察

- ・ 業況は、今期は売上高減少により悪化が進み、先行きは悪化傾向が継続する見通しである。
- ・ 売上高は、今期は物価高騰による買い控えで減少傾向が続くも、先行きは減少傾向は落ち着く見通しである。
- ・ 採算は、今期は仕入単価上昇や賃上げの影響により悪化傾向であり、先行きは悪化傾向は落ち着く見通しである。
- ・ 仕入単価は、今期は円安や仕入先の要請等により上昇傾向であるが、先行きは上昇傾向が鈍化する見通しである。
- ・ 販売単価は、今期は価格転嫁が進み上昇傾向であるが、先行きは上昇傾向が落ち着く見通しである。
- ・ 従業員は、今期は人手不足感がやや鈍化するが、先行きは人手不足傾向が強まる見通しである。
- ・ 資金繰りは、今期・先行きともに悪化傾向が強まる見通しである。

# 【景況感】 ◆サービス業の動向（前期(1-3月)-今期(4-6月)-先行き(7-9月)）



Column 川口の動向の特徴（全国の動きと異なる点）  
（「商工会議所LOBO調査2024年6月」との比較）

- ・採算と資金繰りについて、全国は悪化傾向ですが、川口は好転傾向です。（他指標の動向は同じです）
- ・全国と比較すると販売単価の指標の値が大きく、価格転嫁が進むことで採算や資金繰りに好影響を与えている可能性があります。

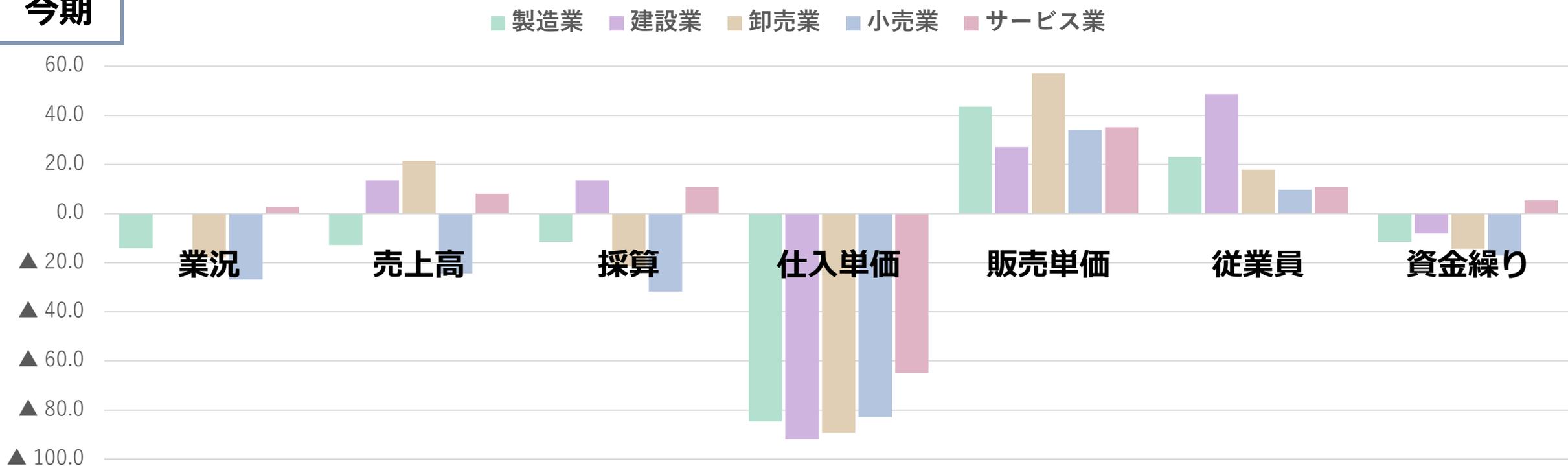
前期：n=40  
今期・先行き：n=37

## 考察

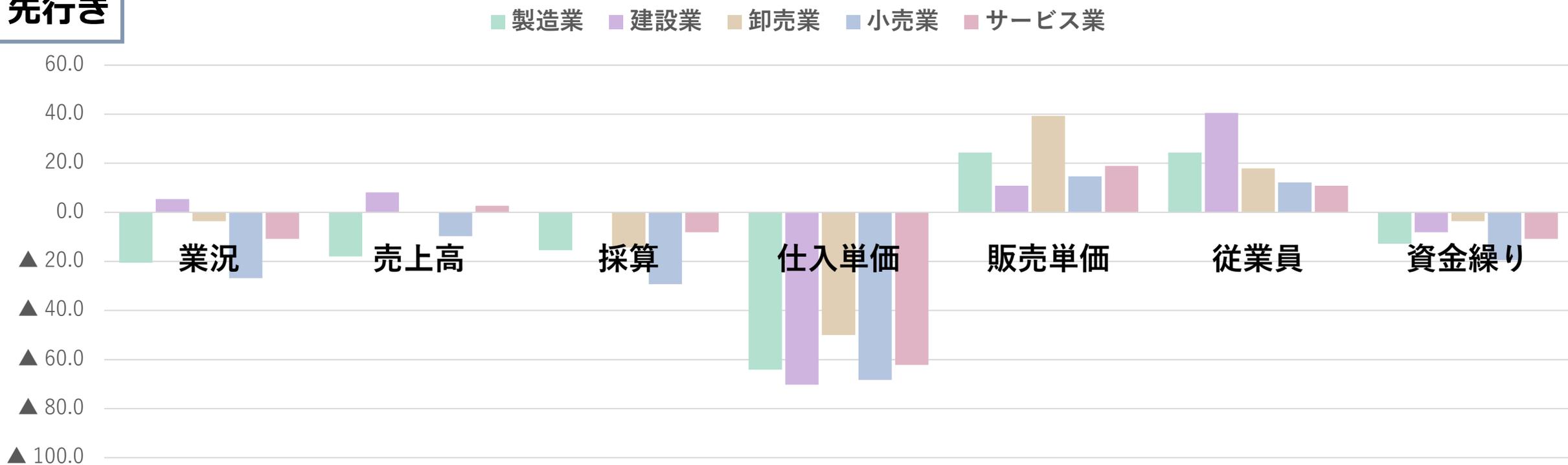
- ・業況は、今期は販売単価と売上高の上昇により好転傾向であるが、先行きは悪化傾向に転じる見通しである。
- ・売上高は、今期は販売単価上昇により一時的に増加傾向が強まるが、先行きは増加傾向が落ち着く見通しである。
- ・採算は、今期は販売単価上昇により一時的に好転するが、先行きは再び悪化傾向に転じる見通しである。
- ・仕入単価は、今期は上昇傾向が強まり、先行きは上昇傾向がやや鈍化する見通しである。
- ・販売単価は、今期は価格転嫁が進んだことで上昇傾向が強まり、先行きは上昇傾向が落ち着く見通しである。
- ・従業員は、今期・先行きともに人手不足傾向が続く見通しである。
- ・資金繰りは、今期は売上高の上昇により一時的に好転するが、先行きは再び悪化傾向に転じる見通しである。

# 【景況感】 ◆業種別の動向（まとめ）

今期



先行き



## 【参考資料】 ◆ 調査概要・回答者の状況

### 調査概要

調査期間：2024（令和6）年7月15日（月）～7月31日（火）

調査対象：会員事業所1,442件（FAX1,077件、メール365件） ⇒ 回答数：233件（回答率16.2%）

### 回答者の状況

#### ◆ 属性

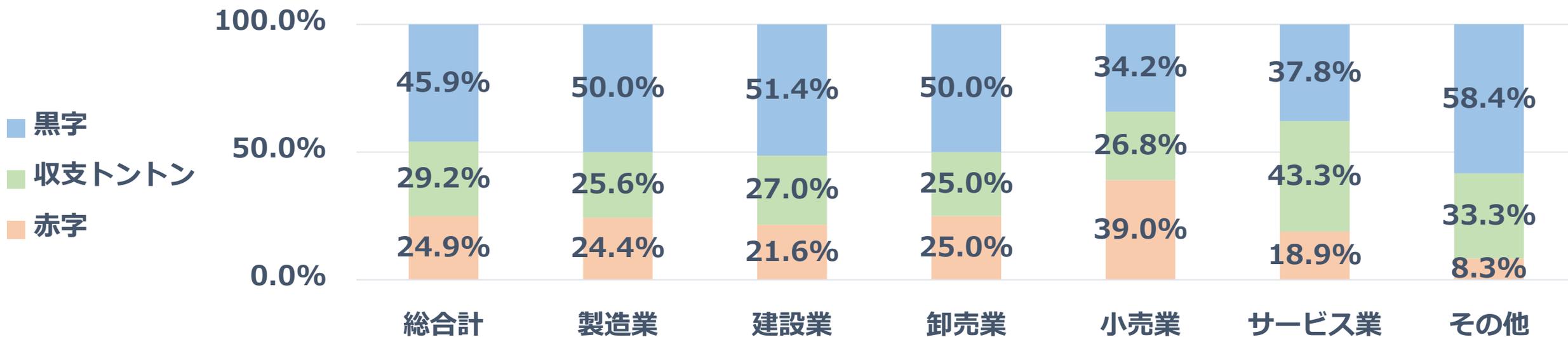
業種	実数	割合
製造業	78	33.5%
建設業	37	15.9%
卸売業	28	12.0%
小売業	41	17.6%
サービス業	37	15.9%
その他	12	5.1%
<b>総計</b>	<b>233</b>	<b>100%</b>

業歴	実数	割合
5年未満	12	5.2%
5～10年	16	6.9%
11～20年	19	8.1%
21～30年	25	10.7%
31年以上	161	69.1%
<b>総計</b>	<b>233</b>	<b>100%</b>

資本金	実数	割合
個人事業主	29	12.5%
500万円以下	64	27.5%
500万円超～1千万円以下	73	31.3%
1千万円超～3千万円以下	35	15.0%
3千万円超～5千万円以下	15	6.4%
5千万円超～1億円以下	12	5.2%
1億円超	0	0.0%
その他・未記入	5	2.1%
<b>総計</b>	<b>233</b>	<b>100%</b>

従業員数	実数	割合
0～5人	118	50.6%
6～20人	60	25.8%
21～50人	28	12.0%
51～100人	6	2.6%
101～300人	8	3.4%
301人以上	4	1.7%
未回答	9	3.9%
<b>総計</b>	<b>233</b>	<b>100%</b>

#### ◆ 収益状況（直近の決算）



# 【参考資料】 ◆第2回（4-6月期）川口商工会議所 クローズアップ市内景況調査 アンケート用紙

川口商工会議所 総合政策課 (FAX 048-228-2221)

## 第2回（4-6月期）川口商工会議所クローズアップ市内景況調査へのご協力をお願い

2024年7月 日

会員のみなさまへ（必ずご回答くださいますようお願い申し上げます。）

日ごろより、本商工会議所の事業運営に、ご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。当所では、市内企業の景況を調査するため、四半期に一度「クローズアップ市内景況調査」を実施しております。このたび、第2回（4-6月期）調査を実施いたしますので、お忙しいところ、誠に恐縮ですが、該当部分にチェックのうえ、7月31日（水）までに、FAXまたはアンケートフォーム（右QRコード）にてご返信いただきますようお願いいたします。皆様のご協力のもと、本調査結果につきましては、引続き本市中小企業支援や行政への意見要望等の参考とさせていただきます。また、過去の調査結果につきましては、本商工会議所ホームページに掲載しておりますのでご参照ください。 川口商工会議所



### アンケート調査票

問1 貴社の状況についてお伺いします。（1）～（5）についてそれぞれ該当する番号をご回答ください。

（1）業種 ＊複数業種の場合は売上比率の最も高い業種を1つお選びください。差し支えなければ、詳しい業種もご記入ください。

1 製造業	2 建設業	3 卸売業	4 小売業
5 サービス業	6 その他 ( )	業種 ( )	

（2）業歴

1 5年未満	2 5～10年	3 11年～20年	4 21年～30年
5 31年以上			

（3）資本金

1 個人事業主	2 500万円以下	3 500万円超～1千万円以下
4 1千万円超～3千万円以下	5 3千万円超～5千万円以下	6 5千万円超～1億円以下
7 1億円超～	8 その他	

（4）従業員（正社員）数（パート・アルバイトを除く）をご記入ください。

\_\_\_\_\_人

（5）収益状況（直近の決算）

1 黒字	2 収支トントン	3 赤字
------	----------	------

問2 貴社の景況感について、回答できる範囲で、該当部分に☑チェックをご記入ください。

（1）今期（前年同月比）

1. 売上高	<input type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 減少
2. 採算	<input type="checkbox"/> 好転	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 悪化
3. 仕入単価	<input type="checkbox"/> 下落	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 上昇
4. 販売単価	<input type="checkbox"/> 上昇	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 下落
5. 従業員	<input type="checkbox"/> 不足	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 過剰
6. 業況	<input type="checkbox"/> 好転	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 悪化
7. 資金繰り	<input type="checkbox"/> 好転	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 悪化

（2）向こう3カ月の先行き見通し（今月比）

<input type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 好転	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 悪化
<input type="checkbox"/> 下落	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 上昇
<input type="checkbox"/> 上昇	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 下落
<input type="checkbox"/> 不足	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 過剰
<input type="checkbox"/> 好転	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 悪化
<input type="checkbox"/> 好転	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 悪化

問3-1 川口商工会議所の情報発信ツールについて、その満足度を教えてください。それぞれの満足度について、該当するところに○をつけてください。

	非常に満足	満足	普通	やや不満	不満	知らない
会報誌 MOVE						
ホームページ						
メールマガジン(エヘル)						
LINE						

問3-2 問3-1で不満・やや不満とご回答の方にお伺いします。どのような点を改善すべきだと思いますか。

問4 欧米各国との金利差等により、1ドル=約157円（2024年6月1日時点）と、歴史的な円安基調が続いています。これに関連して、お伺いします。

問4-1 円安基調が貴社の業績に与える影響について、選択肢から1つお選びください。

〔選択肢〕

- 1：メリットの方が大きい    2：デメリットの方が大きい    3：メリットとデメリットは同程度  
4：メリットもデメリットもない    5：分からない  
6：その他 → 具体的内容は下記コメント欄に記入をお願いいたします。

問4-2 ※質問4-1で選択肢1～2と回答した方にお伺いします。（「1：メリットの方が大きい」、「2：デメリットの方が大きい」）

円安基調が貴社の業績に与える具体的な影響について選択肢からお選びください（複数該当する場合は全てお選びください）。

〔選択肢〕

<メリット>

- 1：自社の輸出額増加  
2：取引先の輸出額増加による受注増加  
3：取引先の国内回帰による受注増加  
4：輸入品価格上昇による自社製品の価格競争力向上  
5：為替差益による収益改善  
6：インバウンド需要の増加

<デメリット>

- 7：原材料、部品、商品等の仕入価格の上昇に伴う負担増  
8：燃料・エネルギー価格の上昇に伴う負担増  
9：仕入コスト上昇分を販売・受注価格へ転嫁できず収益悪化  
10：仕入コスト上昇分を価格に転嫁したことによる売上・受注額の減少  
11：輸入品の値上げに伴う消費者の節約志向の強まり  
12：為替差損による収益悪化  
13：日本人の海外旅行需要の減少

問4-3 ※質問4-1で選択肢2・3と回答した方にお伺いします。（「2：デメリットの方が大きい」、「3：メリットとデメリットは同程度」）

円安に伴う具体的な対応策の具体的な内容について、選択肢からお選びください（複数該当する場合は全てお選びください）。

〔選択肢〕

- 1：製品・サービス価格への転嫁    2：製品・サービスの差別化による付加価値向上  
3：為替予約等によるリスクヘッジ    4：IT、DX、設備投資を活用した生産性の向上  
5：インバウンド需要への対応強化    6：海外販路開拓の強化（越境ECを含む）  
7：設備投資の抑制等、人件費以外のコストの削減    8：人件費の削減  
9：仕入先・仕入方法の見直し（仕入先を海外から国内に切り替える等）  
10：取れる対応策がない  
11：特に対策は考えていない    12：その他 → 具体的内容はコメント欄に記入をお願いいたします。

（コメント欄・・・以下の事柄等についてご意見や事例をお寄せください ※調査結果に掲載することがあります。）  
 ①経営への寄与や影響（賃上げの状況や来年度の見込み、原材料・エネルギー価格等のコスト増や価格転嫁、人手の過不足、最低賃金や時間外割増賃金率の引上げ、物流2024年問題、インバウンド、消費税インボイス制度、祭事、天災、設備投資、生産・出荷・在庫、客数・客単価、公共工事・民間工事）  
 ②調査に関連する具体的な意見や事例

川口商工会議所では、景況調査を年6回程度で予定しております。回答率50%以上の会員事業所様には年度末に謝礼のクオカードをお送りいたしますので、ぜひアンケートへのご協力をお願い申し上げます。以下の内容をご記入ください。（非公開内容となります。）

事業所名	
今後、希望するアンケートの受信方法	FAX ・ メール（いずれかに○をお願いいたします。）
メールアドレス（メールでご希望の場合）	

ご協力ありがとうございました。\*回答いただいた内容につきましては、川口商工会議所の運営に活用させていただきます。問い合わせ：川口商工会議所 総合政策課 (TEL:048-228-2220)

調査方法：FAX・メール・郵送による送付、FAX・Web（Googleフォーム）による回答  
 分析方法：売上高、採算、従業員、業況などについて、「増加」（好転など）と答えた企業から「減少」（悪化など）と答えた企業割合を差し引いたDI値を中心に分析  
 (DI:Diffusion Index)